

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2025年												2026年				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~5日	4月 ~12日
カンピロバクター	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	18	22	26	26	8	10
病原性大腸菌	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	52	51	47	53	18	17
腸管出血性大腸菌	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	2	0	1	0	2
サルモネラ	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	12	17	11	5	3	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	13	11	7	18	3	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0
ロタウイルス	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	1	8	8	9	2	1

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和8年第15週(4月6日~4月12日)

#### 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	12	結核	12		2	2	1	2	1	4
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3			1		1		1
四類	2	E型肝炎	1		1					
		日本紅斑熱	1						1	
五類	5	ウイルス性肝炎	1							1
		急性脳炎	1						1	
		梅毒	1						1	
		百日咳	2							2

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島市、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 感染性胃腸炎

定点当たり5.14人の報告がありました。感染予防のため、便・吐物は適切に処理しましょう。また、トイレの後、便・吐物を処理した後、調理の前、食事の前など、石けんと流水でこまめに手を洗いましょう。

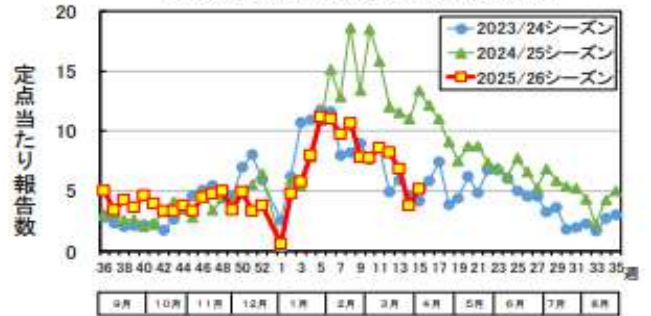
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.24人の報告がありました。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2～5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、莓舌などの症状が現れます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

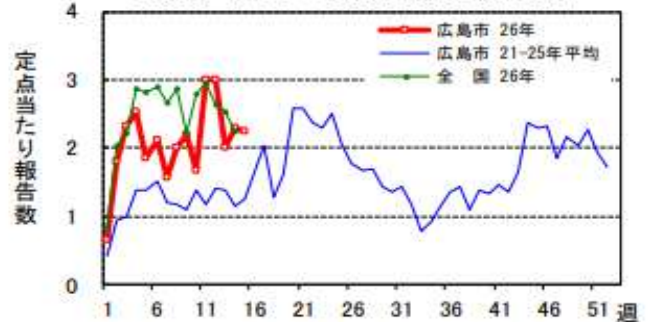
3 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は20件となりました。腸管出血性大腸菌は、「ベロ毒素」と呼ばれる毒素を産生する大腸菌です。菌に汚染された食品を食べたり、患者の糞便に含まれる菌が手指等を介して口から入ることで感染し、少ない菌数でも感染すると言われています。感染予防のため、加熱が必要な食品は十分に加熱し、生野菜は十分に洗いましょう。また、調理の前、食事の前、トイレの後などは、せっけんと流水で手を洗いましょう。

感染性胃腸炎の流行状況(広島市)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
												急増減	増減		
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1578	46.41		⇒	小児科	突発性発しん	7	0.33	0.23		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
	インフルエンザ	28	0.82	1.40	↓		ヘルパンギーナ	3	0.14	0.06		増減	⇒		
	新型コロナウイルス(COVID-19)	13	0.38				流行性耳下腺炎	-	-	0.03		微増減	⇒		前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	10	0.48	0.73		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		横ばい	⇒	ほとんど増減なし	
	咽頭結膜熱	3	0.14	0.24			流行性角結膜炎	8	1.00	0.65					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	2.24	1.25	⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-					
	感染性胃腸炎	108	5.14	6.89	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	-					
	水痘	9	0.43	0.13			マイコプラズマ肺炎	1	0.17	0.26					
	手足口病	1	0.05	0.40			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-					
	伝染性紅斑	1	0.05	0.13			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.37					

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARD)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	40	80歳代、90歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	20	60歳代・O103